

高木仁三郎市民科学基金 2024年度決算概況

■ 活動計算書

2024/4/1～ 2025/3/31

(単位:円)

【収入】			【支出】			
収入	予算	決算	支出	予算	決算	支出構成
会費収入	4,000,000	3,044,000	助成金・委託研究費	8,500,000	8,840,000	28.5% 41.6%
寄付収入	14,500,000	15,925,259	助成関係事業費	7,500,000	4,400,675	14.2% 20.7%
遺贈	0	0	内 人件費	6,000,000	3,433,851	11.1% 16.2%
原子力市民委員会指定寄付	7,500,000	5,952,325	広報・普及事業費	2,000,000	3,178,487	10.2% 15.0%
支援合計	26,000,000	24,921,584	管理費	5,500,000	4,819,741	15.5% 22.7%
書籍販売収入	600,000	172,769	内 人件費	3,000,000	2,693,062	8.7% 12.7%
運用収入・雑収入	200,000	335,237	原子力市民委員会事業費	8,680,274	9,821,205	31.6% 100%
助成金収入	0	0	内 人件費	5,500,000	6,556,820	21.1% 66.8%
経常収入計	26,800,000	25,429,590	経常支出計	32,180,274	31,060,108	
現物資産寄付	0	0	経常収支	-5,380,274	-5,630,518	
原子力市民委員会引当金取崩額	5,767,263	3,654,853	TF次世代育成基金繰入支出	0	0	
特別助成事業引当金取崩額	3,000,000	3,000,000	原子力市民委員会引当金繰入支出	0	0	
収入合計	35,567,263	32,084,443	特別助成事業引当金繰入支出	0	0	
			支出合計	32,180,274	31,060,108	
			当期収支差額	3,386,989	1,024,335	

■ 貸借対照表

基準日 2025/3/31

(単位:円)

【資産】			【負債】		
流動資産	期初	期末	流動負債	期初	期末
現金	81,997	117,688	未払助成金	110,458	110,458
普通預金/三菱UFJ	13,374,728	6,865,065	未払金	720,230	170,910
普通預金/三菱UFJ基金口	6,146,557	6,149,428	源泉税等預り金	146,996	103,969
普通預金/りそな銀行	3	3	事業引当金	977,684	385,337
郵便振替1	47,795	315,861	長期事業引当金	18,767,263	15,112,410
郵便振替2	55,317	56,794	特別助成事業引当金	5,000,000	2,000,000
郵便振替3	49,526	124,126	TF次世代育成基金	8,466,150	10,333,995
城南信用金庫	18,056,007	18,058,909	負債合計	33,211,097	27,831,742
PayPay銀行	491,912	272,618	【正味財産】		
楽天銀行	6,153	2,157	正味財産	期初	期末
貯蔵品(書籍・未使用切手)	4,783,000	4,734,226	前期末正味財産	18,378,958	18,378,958
仮払金・未収入金・出資金	30,910	204,165	当期正味財産増減額		1,024,335
現物寄付資産	8,466,150	10,333,995	正味財産合計	18,378,958	19,403,293
資産合計	51,590,055	47,235,035	負債・正味財産合計	51,590,055	47,235,035

■ 支援者数

基準日 2025/3/31

■ 設立時からの累計

2000-24年度

(単位:円)

支援者数(人)	昨年度	今年度
会員	198人	318人
寄付者	647人	336人
支援者数合計	845人	654人

収入	907,804,091	
内 会費・寄付・市民研究サポート	703,830,252	23.1倍
内 高木仁三郎遺産	30,483,833	
内 受取利息・雑収入など	34,808,458	
内 事業引当金取崩収入	138,681,548	
支出	888,400,798	支出構成
内 助成金・委託研究費	270,956,419	46.2%
内 助成関係費・広報・普及活動費	176,397,861	30.1%
内 管理費	139,632,975	23.8%
内 原子力市民委員会事業費	137,876,585	
内 事業引当金繰入支出	163,536,958	
基金残高	19,403,293	

■ 設立時からの助成実績

2000-24年度

	件数	助成金額(円)
国内向け助成	390件	213,080,000
アジア向け助成	83件	37,850,380
助成金合計	473件	250,930,380
委託研究費	12件	20,032,154
助成金・委託研究費合計	485件	270,962,534

金額(百万円)



高木仁三郎市民科学基金 2024年度 助成金・委託研究費明細（兼 未払助成金明細）

金額単位：円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	助成金額	2025年3月末 未払助成金	備考
【国内枠 調査研究（一般）】				小計	3,200,000	0
231-003	隠された行政プロセスの公文書開示による原発避難計画の実態解明	日野 行介さん		500,000	0	2024/7/21 理事会承認
231-004	第3回核兵器禁止条約締約国会議と広島・長崎被爆80周年に向けて、世界核被害者の声を反映する救済政策の実現を目指す行動計画	川野 ゆきよさん 井上 まりさん	世界の核被害者と連帯する作業部会	1,000,000	0	
231-006	半導体工場の立地操業に伴うリスク要因分析	西村 澄子さん	熊本の環境を考える会	500,000	0	
231-009	福井県内の原発では初となる、使用済燃料のサイト内乾式貯蔵施設の建設について、30km圏内の関西住民の意識を調査する。	島田 清子さん	避難計画を案ずる関西連絡会	500,000	0	
231-015	木質バイオマス発電による放射能汚染の拡散調査	川端 真由美さん	木質バイオマス発電チェック市民会議	200,000	0	
231-019	琉球列島最大規模の湿地帯、樽舞湿原の生態系価値の評価	井上 志保里さん	アンパルの自然を守る会	500,000	0	
【国内枠 調査研究（継続）】				小計	3,900,000	0
236-001	リネン吸着法の吸着メカニズム解析と絶対値評価	青木 一政さん	福島老朽原発を考える会	700,000	0	2024/7/21 理事会承認
236-002	市民によるPFAS調査のための化学分析基盤の構築（第2期）	原田 浩二さん		500,000	0	
236-005	実践・市民放射能測定室の作り方 ～市民が培った確かな測定技術の継承を目指して～	藤田 康元さん	みんなのデータサイト	500,000	0	
236-006	外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握とそれへの対策に関する調査	上田 昌文さん	外環振動・低周波音調査会	500,000	0	
236-007	地域分断の阻止と文献調査拒否を勝ち取った長崎県対馬市の住民運動の研究	高野 聡さん	原子力資料情報室	400,000	0	
236-009	能登半島地震により浮かび上がった複合災害時の避難及び救援に関する諸問題についての調査研究	阪上 武さん	原子力規制を監視する市民の会	500,000	0	
236-010	リニア中央新幹線工事の残土処分の影響調査	柳井 真結子さん	FoE Japan	800,000	0	
				小計	7,100,000	0
【国内枠 調査研究（緊急対応）】				小計	740,000	0
239-001	北海道寿都（すつ）町と神恵内（かもえない）村における核ゴミの地層処分文献調査の批判的検証 - 「磯谷溶岩」・「熊追山安山岩」の放射性年代測定による第四紀火山の認定 -	岡村 聡さん		740,000		2024/9/19 理事会承認
【アジアの個人・グループへの調査研究助成】				小計		
該当なし						
【アジアの個人への研修奨励】				小計		
該当なし						
助成金合計				7,840,000	0	
金額単位：円						
受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	委託研究費	2025年3月末 未払助成金	備考
【委託研究費】				小計	1,000,000	0
	PFAS汚染問題の解決に向けた市民科学研究体制の構築	寺田 良一	PFAS市民委員会	1,000,000		2024/11/29 理事会承認
委託研究費合計				1,000,000	0	
【過年度分の未払い助成金の明細】				助成金額	2025年3月末 未払助成金	
213-022	草の根レンズから見るフィリピンパターン原子力発電所（BNPP）：再生可能エネルギーの社会的受容性に関する研究		Nuclear Free Bataan Movement Philippines (フィリピン)	3,000USD 331,374円	1,000USD 110,458円	

2024年度 事業報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

1 事業の成果

○事業概要

第22期国内枠助成先(2023年度実施分)の調査研究の成果発表会を実施した。

第23期国内枠助成の募集・選考を行い、13件、計710万円の助成を決定した。

さらに緊急対応の助成1件74万円の助成及び、PFAS問題に関わる委託研究費100万円の支出を決定した。

2013年度に高木基金の特別事業として立ち上げた原子力市民委員会では、2022年に発表した3冊目の『原発ゼロ社会への道』の普及に努め、オンラインでの情報発信に積極的に取り組んだ。

これらの活動を「高木基金だより」とウェブサイト、SNSなどを通じて報告するとともに、研究の成果や市民科学のあり方などについての広報・普及活動を行った。

○事業経過

2024年 5月 1日 高木基金だより No. 60 発行 <約3,900部を支援者などに配布>

2024年 5月10日 第23期の国内枠助成応募期限

2024年 7月21日 第23期国内枠助成の公開プレゼンテーション実施 <東洋大学白山キャンパス+オンライン>

2024年 9月23日 第22期助成の成果発表会を開催 <全水道会館+オンライン>

2024年10月 5日 「市民科学」公開フォーラム実施 <東洋大学白山キャンパス+オンライン>

2025年 2月 1日 高木基金だより No. 61 発行 <約3,900部を支援者などに配布>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	通年	主に国内	(1)-(3)あわせて5名	主に国内の個人・グループ	14団体・個人	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金 8,840,000円
	アジアの個人・グループへの調査研究助成	通年	主にアジア		アジアの個人・グループ	今年度は実施せず	市民科学をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成金 今年度は実施せず
	募集告知、助成先選考、助成研究・研修の成果発表	通年	主に国内		国内	応募数 32件(個人・団体)	人件費、旅費交通費・謝礼他 4,400,675円
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及	支援者及び一般への研究成果の普及・活動状況等の広報としての「高木基金だより」の発行など	No. 60 2024/ 5/ 1 No. 61 2025/ 2/ 1	国内		高木基金の支援者及び一般	3,900名(発行部数)	印刷費・通信費 3,178,487円
(3) 市民科学を目指す実践的な活動への助成	原子力市民委員会事業	通年	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	原子力市民委員会事業費 9,821,205円
(4) 自然エネルギー利用および省エネルギーの研究および普及活動への助成	今年度は実施せず						

2024年度 活動計算書

2024年 4月 1日 から 2025年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	240,000		240,000
維持会員受取会費	2,246,000		2,246,000
賛助会員受取会費	558,000		558,000
2 受取寄附金			
寄付金（事業指定寄付を除く）	15,925,259		15,925,259
事業指定寄付	5,952,325		5,952,325
3 受取助成金等			
受取助成金	0		0
4 事業収益			
事業収益	172,769		172,769
5 その他収益			
受取利息・雑収入	335,237		335,237
引当金取崩収入	6,654,853		6,654,853
経常収益計	32,084,443		32,084,443
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	9,080,161		9,080,161
通勤交通費	174,024		174,024
法定福利費	1,229,921		1,229,921
福利厚生費	77,753		77,753
人件費計	10,561,859		10,561,859
(2) その他経費			
助成金・委託研究費	8,840,000		8,840,000
印刷費	1,346,428		1,346,428
書籍仕入れ	0		0
消耗品費	349,737		349,737
交際費	39,800		39,800
旅費交通費	1,049,080		1,049,080
通信運搬費	1,532,606		1,532,606
支払手数料	309,817		309,817
会議費	245,294		245,294
新聞図書費	51,463		51,463
謝礼	320,903		320,903
業務委託費	1,541,765		1,541,765
雑費	550		550
事業引当金繰入支出	0		0
その他経費計	15,627,443		15,627,443
事業費計	26,189,302		26,189,302
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,387,631		2,387,631
通勤交通費	51,161		51,161
法定福利費	239,151		239,151
福利厚生費	15,119		15,119
人件費計	2,693,062		2,693,062
(2) その他経費			
消耗品費	364,326		364,326
賃借料	24,420		24,420
修繕費	65,340		65,340
旅費交通費	73,010		73,010
通信運搬費	251,874		251,874
支払手数料	158,809		158,809
会議費	1,300		1,300
諸会費	10,000		10,000
業務委託費	517,600		517,600
支払家賃	660,000		660,000
雑費	0		0
貯蔵品棚卸高増減額	-18,935		-18,935
基金繰入支出	0		0
その他経費計	2,107,744		2,107,744
管理費計	4,800,806		4,800,806
経常費用計	30,990,108		30,990,108
当期経常増減額	1,094,335		1,094,335
税引前当期正味財産増減額	1,094,335		1,094,335
法人税、住民税及び事業税	70,000		70,000
当期正味財産増減額	1,024,335		1,024,335
前期繰越正味財産額	18,378,958		18,378,958
次期繰越正味財産額	19,403,293		19,403,293

高木仁三郎市民科学基金 事業別損益の状況

2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日）

（単位：円）

科目	助成事業	助成事業の内 特別助成事業	助成事業の内 特別助成事業以外	CCNE事業	CCNE事業の内 書籍事業	CCNE事業の内 書籍事業以外	普及事業	事業部門計	管理部門	次世代基金	合計
I 経常収益											
1. 受取会費	3,044,000		3,044,000	0	0		0	3,044,000	0		3,044,000
2. 受取寄附金	15,925,259		15,925,259	5,952,325	0	5,952,325	0	21,877,584	0		21,877,584
3. 受取助成金等			0	0	0		0	0			0
4. 事業収益			0	172,769	172,769		0	172,769	0		172,769
5. その他収益	232,130		232,130	41,258		41,258	0	273,388	61,849		335,237
6. 引当金取崩収入	3,000,000		3,000,000	3,654,853	0	3,654,853	0	6,654,853	0		6,654,853
事業部門間調整	0				0		0	0			0
経常収益計	22,201,389	0	22,201,389	9,821,205	172,769	9,648,436	0	32,022,594	61,849	0	32,084,443
II 経常費用											
(1) 人件費											
給料手当	2,833,581		2,833,581	5,759,980	58,547	5,701,433	486,600	9,080,161	2,387,631		11,467,792
通勤交通費	55,406		55,406	106,679	392	106,287	11,939	174,024	51,161		225,185
法定福利費	512,467		512,467	649,125		649,125	68,329	1,229,921	239,151		1,469,072
福利厚生費	32,397		32,397	41,036		41,036	4,320	77,753	15,119		92,872
人件費計	3,433,851		3,433,851	6,556,820	58,939	6,497,881	571,188	10,561,859	2,693,062		13,254,921
(2) その他経費											
876 助成金・委託研究費	8,840,000		8,840,000	0	0	0	0	8,840,000	0		8,840,000
838 印刷費	82,405	0	82,405	250,483	250,483	0	1,013,540	1,346,428			1,346,428
840 書籍仕入れ	0	0	0	0	0	0	0	0			0
854 消耗品費		0	0	349,737	0	349,737	0	349,737	364,326		714,063
855 賃借料		0	0	0	0	0	0	0	24,420		24,420
857 修繕費		0	0	0	0	0	0	0	65,340		65,340
861 交際費		0	0	39,800	0	39,800	0	39,800			39,800
862 旅費交通費	425,409	0	425,409	547,137	0	547,137	76,534	1,049,080	73,010		1,122,090
863 通信運搬費	55,767	0	55,767	137,370	0	137,370	1,339,469	1,532,606	251,874		1,784,480
864 支払手数料	86,274	0	86,274	222,583	213,120	9,463	960	309,817	158,809		468,626
865 会議費	143,449	0	143,449	101,569	0	101,569	276	245,294	1,300		246,594
866 諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000		10,000
868 新聞図書費	50,463	0	50,463	1,000	0	1,000	0	51,463	0		51,463
875 謝礼	0	0	0	228,466	0	228,466	92,437	320,903	0		320,903
886 業務委託費	122,507	0	122,507	1,335,175	184,800	1,150,375	84,083	1,541,765	517,600		2,059,365
888 支払家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	660,000		660,000
890 雑費	550	0	550	0	0	0	0	550	0		550
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
租税公課	0	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000	0		70,000
為替変動調整費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
事業引当金繰入支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
その他経費計	9,806,824	0	9,806,824	3,283,320	718,403	2,564,917	2,607,299	15,697,443	2,126,679	0	17,824,122
641 期首書籍棚卸高				4,659,756	4,659,756			4,659,756			4,659,756
659 期末書籍棚卸高				4,678,691	4,678,691			4,678,691			4,678,691
経常費用計	13,240,675	0	13,240,675	9,821,205	758,407	9,062,798	3,178,487	26,240,367	4,819,741	0	31,060,108
当期経常増減額	8,960,714	0	8,960,714	0	-585,638	585,638	-3,178,487	5,782,227	-4,757,892	0	1,024,335

原子力市民委員会の収支概況 (設立から2024年度実績+2025~26年度計画)

項 目		金額(千円)	収入・支出の内訳								
収 入	設立時のご寄付	50,000									
	原子力市民委員会収入		指定寄付	内 一般	内 大口寄付	書籍販売	印税	雑収入			
	2013年度	5,548	5,018	2,518	2,500			530			
	2014年度	9,363	5,398	1,398	4,000	2,837	994	134			
	2015年度	5,042	4,026	1,026	3,000	926		90			
	2016年度	4,271	3,837	837	3,000	385		50			
	2017年度	5,459	4,010	1,010	3,000	1,437		12			
	2018年度	5,327	4,336	1,336	3,000	759		231			
	2019年度	4,288	3,903	903	3,000	262		123			
	2020年度	9,926	9,790	790	9,000	125		10			
	2021年度	21,023	20,886	886	20,000	138		0			
	2022年度	5,257	4,599	1,499	3,100	650	8	0			
	2023年度	6,848	6,299	1,299	5,000	324	5	219			
2024年度	6,166	5,952	952	5,000	170	3	41				
収入累計(2011-24年度)	138,518										
2025年度(計画)	6,200	6,000	2,500	3,500	200		0	*1 書籍販売に関わる人件費は含まない			
2026年度(計画)	6,200	6,000	1,500	4,500	200		0	*2 書籍販売に関わる人件費および発送などに関わる費用を含む			
支 出	原子力委員会事業費		人件費 *1	旅費交通費	会議費	業務委託費	書籍販売 *2	その他	年度収支	高木基金繰入	引当預金残高
	2011年度	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
	2012年度	1,148	229	884	19	0	0	16	-1,148	4,000	52,852
	2013年度	13,766	2,806	6,819	1,889	438	1,695	119	-8,218	11,018	55,652
	2014年度	19,656	6,373	5,360	377	830	6,011	706	-10,293	2,093	47,452
	2015年度	14,372	5,208	4,338	295	1,287	2,383	861	-9,330	1,177	39,300
	2016年度	9,967	3,205	3,392	459	198	2,435	278	-5,696	1,375	34,980
	2017年度	14,474	5,618	2,468	246	418	5,370	354	-9,015	0	25,965
	2018年度	13,008	6,418	3,769	372	155	1,632	661	-7,681	0	18,284
	2019年度	9,955	5,875	2,317	153	129	1,067	413	-5,667	0	12,617
	2020年度	6,976	5,660	166	0	0	1,031	119	2,950	-4,069	11,497
	2021年度	6,561	4,849	0	0	254	1,176	282	14,462	0	25,960
	2022年度	8,437	5,193	79	21	671	2,168	306	-3,180	0	22,780
2023年度	10,861	6,205	672	282	1,269	1,785	648	-4,013	0	18,767	
2024年度	9,821	6,557	547	102	1,150	699	766	-3,655	0	15,112	
支出累計(2011-24年度)	139,000							-482	15,594	15,112	
2025年度(計画)	10,000	5,000	800	300	1,800	500	1,600	-3,800		11,312	
2026年度(計画)	10,000	5,000	600	300	1,800	500	1,800	-3,800		7,512	
繰越収支残高(2026年度末)		7,512									

2024年度（特定非営利活動に係る事業）財産目録

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目			金 額（単位：円）	
I 資産の部				
1 流動資産	現金	小口現金（助成事業）	81,659	
		小口現金（原子力市民委員会）	36,029	
	普通預金	三菱UFJ	6,865,065	
		三菱UFJ（基金口）	4,149,428	
		※ 口座残高 6,149,428円から引当資産差引後		
		城南信用金庫	2,946,499	
		※ 口座残高 6,058,909円から引当資産差引後		
		りそな銀行	3	
		paypay銀行 円普通預金	118,933	
		paypay銀行 USD普通預金	4,165	
		※ USD 27.86 × 149.52円（3/31の終値）		
		paypay銀行 USD定期預金	149,520	
		※ USD 1,000.00 × 149.52円（3/31の終値）		
		楽天銀行	2,157	
	郵便振替	00140-6-603393	315,861	
		00160-4-758972	56,794	
		00170-0-695728	124,126	
	貯蔵品	販売用書籍	4,678,691	
		未使用切手・書き損じはがき	55,535	
	未収入金	次世代育成基金運用収入	38,458	
古本募金 未入金分		5,707		
仮払金	年度末資金移動	150,000		
出資金	職員共済組合出資金	10,000		
流動資産合計			19,788,630	
2 固定資産	原子力市民委員会事業引当資産			
	普通預金	城南信用金庫	3,112,410	
	定期預金	城南信用金庫	12,000,000	
	特別助成事業引当資産			
	普通預金	三菱UFJ（基金口）	2,000,000	
現物寄附財産		10,333,995		
固定資産合計			27,446,405	
資産合計			47,235,035	
II 負債の部				
1 流動負債	未払金	未払助成金	110,458	
		未払法人住民税	70,000	
		未払交通費、謝礼等	100,910	
	預り金	源泉所得税	103,969	
流動負債合計			385,337	
2 固定負債	なし			
固定負債合計			0	
負債合計			385,337	
III 正味財産の部				
正味財産		19,403,293		
長期事業引当金		15,112,410		
特別助成事業引当金		2,000,000		
TF次世代育成基金		10,333,995		
			46,849,698	
正味財産及び負債の合計			47,235,035	

2024年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額（単位：円）	
I 資産の部			
1 流動資産	現金	小口現金（助成事業）	81,659
		小口現金（原子力市民委員会）	36,029
	普通預金	三菱UFJ	6,865,065
		三菱UFJ（基金口）	4,149,428
		※口座残高6,149,428円から引当資産差引後	
		城南信用金庫	2,946,499
		※口座残高6,058,909円から引当資産差引後	
		りそな銀行	3
		paypay銀行 円普通預金	118,933
		paypay銀行 USD普通預金	4,165
		※ USD 27.86 × 149.52円（3/31の終値）	
		paypay銀行 USD定期預金	149,520
		※ USD 1,000.00 × 149.52円（3/31の終値）	
		楽天銀行	2,157
	郵便振替	00140-6-603393	315,861
		00160-4-758972	56,794
		00170-0-695728	124,126
	貯蔵品	販売用書籍	4,678,691
		未使用切手・書き損じはがき	55,535
	未収入金	次世代育成基金運用収入	38,458
		古本募金 未入金分	5,707
	仮払金	年度末資金移動	150,000
	出資金	職員共済組合出資金	10,000
	流動資産合計		19,788,630
2 固定資産	原子力市民委員会事業引当資産		
	普通預金 城南信用金庫		3,112,410
	定期預金 城南信用金庫		12,000,000
	特別助成事業引当資産		
	普通預金 三菱UFJ（基金口）		2,000,000
	現物寄附財産		10,333,995
	固定資産合計		27,446,405
	資産合計		47,235,035
II 負債の部			
1 流動負債	未払金	未払助成金	110,458
		未払法人住民税	70,000
		未払交通費、謝礼等	100,910
	預り金	源泉所得税	103,969
	流動負債合計		385,337
2 固定負債	なし		
	固定負債合計		0
	負債合計		385,337
III 正味財産の部			
	前期正味財産		18,378,958
	当期正味財産増減額		1,024,335
	長期事業引当金		15,112,410
	特別助成事業引当金		2,000,000
	TF次世代育成基金		10,333,995
	正味財産合計		46,849,698
	正味財産及び負債の合計		47,235,035

長期事業計画書（原子力市民委員会事業）

単位：円

項目	年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	合計
		実績	1年目：実績	2年目：実績	3年目：実績	4年目：実績	5年目：実績	6年目：実績	7年目：実績	8年目：実績	9年目：実績	10年目：実績	11年目：実績	12年目：実績	13年目：計画	13年目：実績	14年目：計画	15年目：計画	
収入																			
事業引当金取り崩し収入			1,147,591	13,200,000	13,200,000	8,252,409	8,899,685	10,479,623	7,680,514	5,667,334	1,119,226	5,537,348	3,179,954	4,013,011	5,767,263	3,654,853	3,800,000	3,800,000	110,139,313
事業指定寄付	50,000,000		5,018,206	5,397,835	4,025,712	3,837,160	4,009,660	4,336,319	3,902,600	9,790,400	20,885,800	4,599,020	6,299,002	7,500,000	5,952,325	6,000,000	6,000,000	6,000,000	155,054,039
雑収入			529,591	134,343	90,326	49,500	12,250	231,381	123,001	10,000			219,477		41,258				1,441,127
助成金など																			0
収入計(収益事業以外)	50,000,000	1,147,591	18,747,797	18,732,178	12,368,447	12,786,345	14,501,533	12,248,214	9,692,935	10,919,626	26,423,148	7,778,974	10,531,490	13,267,263	9,648,436	9,800,000	9,800,000	9,800,000	266,634,479
支出																			
原子力市民委員会事業費		1,147,591	13,765,659	13,872,727	11,988,390	7,531,550	9,104,461	11,375,449	8,888,021	5,944,789	5,259,252	6,268,559	9,075,636	11,967,263	9,062,798	9,500,000	9,500,000	9,500,000	158,392,647
内 人件費		229,000	2,805,935	6,372,878	5,207,569	3,025,383	5,617,879	6,418,442	5,874,594	5,560,006	4,848,999	5,192,514	6,205,072	7,000,000	6,497,881	5,000,000	5,000,000	5,000,000	91,856,152
内 旅費交通費		883,930	6,818,785	5,360,415	4,337,667	3,391,756	2,468,461	3,768,582	2,317,056	165,830		78,520	671,527	1,000,000	547,137	800,000	600,000	600,000	34,109,666
内 通信運搬費				233,009	362,462	56,934	44,563	263,469	185,308	29,591	81,393	121,524	282,327	250,000	137,370	100,000	100,000	100,000	2,447,950
内 消耗品費				242,500	364,903	142,936	229,387	204,668	88,231	166,799	63,221	138,162	112,501	150,000	349,737	200,000	200,000	200,000	2,833,045
内 委託費			437,500	829,588	1,287,031	197,669	418,071	155,363	129,283	0	245,014	671,051	1,268,591	2,800,000	1,150,375	1,800,000	1,800,000	1,800,000	14,239,536
内 会議費		18,616	1,889,232	376,677	294,673	458,932	246,232	372,059	153,331	0		20,640	228,114	250,000	101,569	300,000	300,000	300,000	5,160,075
内 印刷費			1,695,352	227,373		51,408			44,170	0		0	0	100,000	0	500,000	500,000	500,000	3,268,303
内 講師謝礼					45,000	157,434	22,274	139,559	38,411	20,000		44,548	293,993	350,000	228,466	500,000	500,000	500,000	2,689,685
内 その他事業費		16,045	118,855	230,287	89,085	49,098	57,594	53,307	57,637	2,563	20,625	1,600	13,511	67,263	50,263	300,000	500,000	500,000	1,888,245
支出計(収益事業以外)		1,147,591	13,765,659	13,872,727	11,988,390	7,531,550	9,104,461	11,375,449	8,888,021	5,944,789	5,259,252	6,268,559	9,075,636	11,967,263	9,062,798	9,500,000	9,500,000	9,500,000	158,392,647
単年度収支(収益事業以外)・・・①	50,000,000	0	4,982,138	4,859,451	380,057	5,254,795	5,397,072	872,765	804,914	4,974,837	21,163,896	1,510,415	1,455,854	1,300,000	585,638	300,000	300,000	300,000	108,241,832
収入																			
書籍売り上げ				2,837,406	926,090	384,600	1,437,420	759,444	262,100	125,420	137,660	649,680	324,420	600,000	172,769	200,000	200,000	200,000	11,417,009
印税収入				993,600	0	0						8,123	4,665						1,006,388
																			0
収入計(収益事業)	0	0	0	3,831,006	926,090	384,600	1,437,420	759,444	262,100	125,420	137,660	657,803	329,085	600,000	172,769	200,000	200,000	200,000	12,423,397
支出																			
書籍販売原価				5,783,267	2,383,199	2,435,214	5,369,842	1,632,209	2,073,415	1,031,371	1,301,556	2,168,218	1,784,939	1,900,000	758,407	500,000	500,000	500,000	36,121,637
内 人件費				0	0	149,756	293,799	29,636	289,917	136,458	125,333	141,160	123,455	150,000	58,939	50,000	50,000	50,000	1,948,453
内 印刷費				3,398,837	1,406,481	1,422,760	3,084,362	528,678	1,397,538	359,886	567,303	25,080			250,483	200,000	200,000	200,000	13,641,408
内 書籍仕入れ				1,632,960	759,858	360,082	0	0	0	0	0	1,022,840	1,061,800	1,200,000	0	0	0	0	9,287,540
内 通信運搬費				421,230	96,961	246,972	870,739	241,272	46,313	15,764	8,415	52,736	190,630	200,000		20,000	50,000	50,000	2,761,032
内 委託費				213,364		100,000	1,019,205	296,000	268,470	266,563	259,600	446,012	157,828	250,000	184,800	200,000	150,000	150,000	4,411,842
内 その他事業費				116,876	119,899	155,644	101,737	536,623	71,177	252,700	340,905	480,390	251,226	100,000	264,185	30,000	50,000	50,000	4,071,362
(内 期末在庫増加分)				-674,257	-1,176,737	-1,375,442		-329,394	-1,006,401						-18,935				-4,581,166
支出計(収益事業)	0	0	0	5,783,267	2,383,199	2,435,214	5,369,842	1,632,209	2,073,415	1,031,371	1,301,556	2,168,218	1,784,939	1,900,000	758,407	500,000	500,000	500,000	36,121,637
単年度収支(収益事業)・・・②	0	0	0	-1,952,261	-1,457,109	-2,050,614	-3,932,422	-872,765	-804,914	-905,951	-1,163,896	-1,510,415	-1,455,854	-1,300,000	-585,638	-300,000	-300,000	-300,000	-22,691,839
収入合計(収益事業含む)	50,000,000	1,147,591	18,747,797	22,563,184	13,294,537	13,170,945	15,938,953	13,007,658	9,955,035	11,045,046	26,560,808	8,436,777	10,860,575	13,867,263	9,821,205	10,000,000	10,000,000	10,000,000	279,057,876
支出合計(収益事業含む)	0	1,147,591	13,765,659	19,655,994	14,371,589	9,966,764	14,474,303	13,007,658	10,961,436	6,976,160	6,560,808	8,436,777	10,860,575	13,867,263	9,821,205	10,000,000	10,000,000	10,000,000	194,514,284
単年度収支合計・・・①+②	50,000,000	0	4,982,138	2,907,190	-1,077,052	3,204,181	1,464,650	0	0	4,068,886	20,000,000	0	0	0	0	0	0	0	85,549,993
高木基金通常会計からの繰入・・・③		4,000,000	11,017,862	2,092,810	1,176,737	1,375,442	0	0	0	-4,068,886	0	0	0	0	0	0	0	0	15,593,965
事業引当金繰入支出・・・④	50,000,000	4,000,000	16,000,000	5,000,000	99,685	4,579,623	1,464,650	0	0	0	20,000,000	0	0	0	0	0	0	0	101,143,958
①+②+③-④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原子力市民委員会事業引当金残高	50,000,000	52,852,409	55,652,409	47,452,409	39,299,685	34,979,623	25,964,650	18,284,136	12,616,802	11,497,576	25,960,228	22,780,274	18,767,263	13,000,000	15,112,410	11,312,410	7,512,410	7,512,410	0

高木基金 2011～2024年度決算・2025年度予算および2026年度の試算

金額単位:千円

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				2025年度	2026年度		
														予算	決算	前年比	予算対比	予算	試算		
収 入	会費収入	4,561	5,031	5,104	4,761	4,533	6,004	5,709	5,271	4,930	4,762	5,028	3,076	2,219	4,000	3,044	825	△ 956	3,000	3,000	
	寄付収入	56,414	28,493	54,107	18,952	17,496	20,928	14,019	8,902	10,332	17,347	10,519	19,531	16,340	14,500	15,925	△ 415	1,425	15,500	15,500	
	遺贈						0	0	26,000	0	0	0	0	5,000	0	0	△ 5,000	0	0	0	
	事業指定寄付	50,000					3,837	4,010	4,336	3,903	9,790	28,629	4,599	6,299	7,500	5,952	△ 347	△ 1,548	6,000	6,000	
	会費・寄付 小計	110,975	33,524	59,211	23,713	22,029	30,769	23,738	44,509	19,164	31,900	44,176	27,206	29,858	26,000	24,922	△ 4,936	△ 1,078	24,500	24,500	
	内 一般の会費・寄付	11,170	10,010	12,023	10,807	10,029	10,240	8,895	9,266	7,901	10,650	8,260	15,505	10,658	14,000	8,922	△ 1,736	△ 5,078	12,500	12,500	
	内 大口の寄付 *	99,805	23,514	47,189	12,906	12,000	20,529	14,843	9,243	11,263	21,250	35,916	11,701	19,200	12,000	16,000	△ 3,200	4,000	12,000	12,000	
	書籍販売事業収入				2,837	926	385	1,426	709	262	125	138	650	324	600	173	△ 152	△ 427	200	200	
	助成金収入	765	1,707	4,693	3,200					1,500	759	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000
	利息・雑収入など	1,362	935	1,441	1,416	2,166	1,034	254	470	301	228	251	502	649	200	335	△ 313	135	200	200	
	経 常 収 入 計	113,103	36,166	65,345	31,167	25,121	32,187	25,418	45,688	21,228	33,012	44,565	28,358	30,831	26,800	25,430	△ 5,402	△ 1,370	25,900	25,900	
	原子力市民委員会事業引当金取崩し		1,148	13,200	22,200	8,252	8,900	10,480	7,681	5,667	1,119	5,537	3,180	4,013	5,767	3,655	△ 358	△ 2,112	4,000	4,000	
	特別助成事業引当金取崩し					9,000	9,000	3,150	0	9,000	0	7,440	2,560	500	3,000	3,000	2,500	0	2,000		
収 入 合 計	113,103	37,314	78,545	53,367	42,373	50,087	39,048	53,368	35,895	34,131	57,542	34,098	35,344	35,567	32,084	△ 3,260	△ 3,483	31,900	29,900		
支 出	助成金	26,616	13,760	11,550	13,640	14,200	10,692	10,860	10,616	2,024	9,428	7,523	8,000	8,000	7,840	△ 160	△ 160	4,000	4,000		
	委託研究費	3,000	3,000	400				1,530		1,000	500	0	0	0	1,000	1,000	1,000	0	4,000	4,000	
	助成関係費（国内）	2,726	2,550	2,337	3,257	2,419	2,417	2,635	2,366	1,841		1,440	738	1,483	1,358	1,500	967	△ 391	△ 533	1,500	1,500
	助成関係費（アジア）	385	128	85		347	271	328	322	268									0	0	
	助成事業人件費				5,327	7,548	6,847	7,470	7,687	8,201	7,353	6,895	6,883	4,762	6,500	4,005	△ 757	△ 2,495	5,000	5,000	
	広報・普及事業費	2,302	3,393	5,038	4,974	3,431	1,941	1,842	2,440	2,236	2,368	1,587	1,944	957	1,800	2,607	1,650	807	2,400	2,400	
	管理費	7,513	9,286	11,632	6,691	6,462	6,601	6,828	7,615	7,564	6,537	5,215	5,941	4,939	5,500	4,820	△ 120	△ 680	5,000	5,000	
	内 人件費	6,412	7,565	8,804	3,933	3,800	3,383	4,004	4,896	4,407	3,738	3,485	2,907	2,671	3,000	2,693	22	△ 307	3,000	3,000	
	原子力市民委員会事業費	0	1,148	13,766	18,982	13,295	8,591	12,508	13,008	9,955	6,662	6,561	8,437	10,861	13,867	9,821	△ 1,039	△ 4,046	10,000	10,000	
	内 人件費		0				3,175	5,912	6,448	6,165	5,696	4,974	5,334	6,329	7,150	6,557	228	△ 593	5,000	5,000	
	経 常 支 出 計	42,542	33,265	44,807	52,870	47,702	37,361	44,001	44,082	41,682	26,883	30,423	32,210	30,876	38,167	31,060	184	△ 7,107	31,900	31,900	
	内 人件費合計	6,412	7,565	8,804	9,260	11,348	13,405	17,385	19,031	18,773	16,787	15,354	15,124	13,761	16,650	13,255	△ 507	△ 3,395	13,000	13,000	
	原子力市民委員会事業引当金繰入	50,000	4,000	43,000	5,000	0	4,580	1,465	0	0	0	20,000		0			0	0	0	0	
特別助成事業引当金繰入						3,150	0	9,000	0	10,000		500	5,000			△ 5,000	0	0	0		
TF次世代育成基金繰入支出											7,743	0	0	0	0	0	0	0	0		
支 出 合 計	92,542	37,265	87,807	57,870	47,702	45,090	45,465	53,082	41,682	36,883	58,166	32,710	35,876	38,167	31,060	△ 4,816	△ 7,107	31,900	31,900		
収 支 差 額	20,561	49	-9,262	-4,503	-5,328	4,996	△ 6,418	286	△ 5,787	△ 2,752	△ 624	1,388	-532	-2,600	1,024	1,557	3,624	0	-2,000		
年度末正味財産(基金残高)						32,818	26,400	26,686	20,899	18,148	17,524	18,911	18,379	15,779	19,403			19,403	17,403		

* 分析の目安として、50万円以上のご寄付を「大口」として集計しています。

原子力市民委員会事業引当預金残高	39,300	34,980	25,965	18,284	12,617	11,498	25,960	22,780	18,767	13,000	15,112							11,112	7,112
特別助成事業引当預金残高	9,000	3,150	0	9,000	0	10,000	2,560	500	5,000	2,000	2,000							0	0

2025年 5月 19日

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
代表理事 河合 弘之 様
代表理事 高木 久仁子 様

会 計 監 査 報 告 書 (写)

当法人の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日）の会計について、
財産目録、貸借対照表、活動計算書、総勘定元帳等を精査した結果、適正な
ものであることを認めます。

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

監事 濱 口 博 史

議題 1. 2024 年度事業報告および決算報告

(1) 国内枠助成（助成の詳細は p.2 を参照）

- ・2024 年度は、前年に続き、助成期間を 2024 年 8 月からの 1 年間とするかたちで、4 月 11 日から 5 月 10 日にかけて、第 23 期の国内枠調査研究助成の募集を行った。募集にあたっては、過去に高木基金から助成を受けた回数により、一般（助成実績なしまたは助成 1 回）と継続（助成 2 回以上）の分類を設けた。また、第 19 期から第 20 期に設定した若手研究支援枠は設定せず、大学生や大学院生などからの応募も一般枠で受け付けることとした。助成予算は、一般・継続をあわせて 800 万円（前年比同額）とした。
- ・6 月 30 日に選考委員会を実施し、書類選考通過の 17 件（一般 10 件、継続 7 件）を決定した。この内、5 件については、7 月 17 日に高木基金の役員によるオンライン面接を行い、その他の 12 件を対象に、7 月 21 日に公開プレゼンテーションを実施した（会場：東京の東洋大学白山キャンパス 1 号館 1601 教室。参加者は会場参加 30 名、オンライン参加 45 名）。公開プレゼンテーションでの発表、質疑応答での議論もふまえ、理事会として助成先 12 件、助成総額 740 万円を内定した。その後、助成内定者から、1 件辞退の申し出（助成内定額 30 万円）があり、助成決定は 11 件、助成決定総額は 710 万円となった。

【2024 年度（第 23 期）国内枠助成の募集・助成結果】

募集	国内向け調査研究助成				
	…… 2024 年 4 月 11 日～5 月 10 日				
応募	応募件数	国内合計	30 件	応募総額	2,156 万円
	内 調査研究（一般）		19 件		1,393 万円
	内 調査研究（継続）		11 件		763 万円
選考	2024 年 6 月 30 日の選考委員会にて書類選考を実施し、17 件（応募総額 1,150 万円）を書類選考通過とした。書類選考通過者の内、5 件については理事によるオンライン面接を行い、その他の 12 件については 7 月 21 日の公開プレゼンテーションで調査研究計画の発表、質疑応答を行った。公開プレゼンテーション終了後の理事会で 14 件の助成先を内定したが、その後、助成内定者から 1 件、辞退の申し出があり、助成決定は 13 件、助成決定総額は 710 万円となった。				
助成決定		第 23 期助成		累 計	
	国内向け調査研究助成	13 件	710 万円	353 件	19,476 万円
	内 調査研究（一般）	6 件	320 万円		
	内 調査研究（継続）	7 件	390 万円		
	国内向け研修奨励		（募集せず）	36 件	1,758 万円
	合 計	13 件	710 万円	389 件	21,234 万円

- ・第 22 期（2023 年度）助成先の助成期間が 2024 年 7 月で終了し、調査研究成果のとりまとめを行った。2024 年 9 月 23 日に、東京・水道橋の全水道会館中会議室を会場とし、オンラインで配信するかたちで成果発表会を開催した。会場参加者は発表者スタッフを含めて 25 名、オンライン参加者は 58 名だった。
- ・調査研究の成果報告の概要等は、成果発表会の当日資料として配付するとともに、「高木基金だより」に掲載し、ウェブサイトにも掲載した。
- ・助成の成果報告をまとめた「高木基金助成報告集」については、事務局の編集作業が遅れ、2011 年度から発行ができていない。それぞれの助成先ごとにウェブサイトに掲載していく方法を含め、公開をすすめるよう準備する。

(2) アジア枠助成

- ・アジア枠については、2023年度につづき、2024年度も新規の助成募集は行わなかった。アジアにおける市民科学の取り組みを、高木基金としてどのようなかたちで支援するのがよいか継続して検討している。10月には韓国で開催された国連のアジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）主催の「北東アジア SDGs マルチステークホルダーフォーラム」で高木基金の「市民科学」の取り組みについて報告をする機会があり、各国の参加者との交流を深めた。

【アジア枠の募集・助成結果】

募集・選考	2024年度の新規募集は行わなかった。		
助成決定		2023年度	累計
	アジア向け調査研究助成	なし	79件 3,608万円
	アジア向け研修奨励	なし	4件 177万円
	合計		83件 3,785万円

(3) 委託研究・緊急対応としての助成

- ・高木基金では、公募助成とは別に、高木基金の理事会が必要と判断した研究テーマについて、研究体制の構築等を含めて高木基金が関わりながら、研究資金を助成する取り組みを「委託研究」と位置づけて実施してきた。また、通常の助成募集期間外に、緊急の対応が必要となる場合に備えて、2024年度の予算に100万円を計上していた。

・「北海道寿都町と神恵内村における核ゴミの地層処分文献調査の批判的検証」

本件は、第23期の助成選考終了後に緊急の案件として相談があり、調査研究計画について選考委員にも相談の上、理事会として検討した結果、政府が高レベル放射性廃棄物の最終処分地の選定を進めようとしている状況において、重要な科学的知見が呈示される可能性のある研究だと判断し、助成を決定した。

<緊急助成の概要>

助成受付番号：239-001 助成申込者：岡村 聡

研究テーマ：「北海道寿都（すつつ）町と神恵内（かもえない）村における核ゴミの地層処分文献調査の批判的検証 — 「磯谷溶岩」・「熊追山安山岩」の放射性年代測定による第四紀火山の認定 —

助成決定金額：74万円

・「高木基金 PFAS プロジェクト」

全国で深刻なPFAS汚染が判明している状況があり、高木基金としてはここ数年、助成とともに、「市民科学公開フォーラム」でもPFAS問題を取り上げてきた。特に、2024年10月に開催した市民科学公開フォーラム「広がるPFAS汚染 私たちにできることは何か」の登壇者とのつながりを発展させるかたちで、高木基金の委託研究として、PFAS汚染の実態把握に関する情報収集、市民への発信、政策提言等に取り組むこととして、2025年3月末までの事業費として委託研究費100万円を支出することを2024年11月に理事会として決定した。

（理事会決定時の研究テーマは「PFAS汚染問題の解決に向けた市民科学研究体制の構築」、グループ名：PFAS市民委員会、代表者：寺田良一）

これを受けて12月4日に「高木基金PFASプロジェクト」として活動を開始した。PFASの「耐容一日摂取量（TDI）」を定めた食品安全委員会（食安委）「PFAS評価書」（2024年6月公表）を検証したところ、参照論文が非公式の会合で7割以上差し替えられていたことが判明した。健康影響を認める重要論文が除外されるなど、科学的合理性に著しい疑義が生じたため、2025年3月3日に記者会見、3月9日に市民フォーラムを開催し、食安委によるリスク評価のあり方と、食安委のTDIをもとに数値を定めた環境省の水質基準の問題を指摘し、非公式会合の議事録等の公開とともに、リスク評価のやり直しを求める活動を実施した。

- ・「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」（略称「柏崎刈羽・科学者の会」）
「柏崎刈羽・科学者の会」は、2007年の新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原発が被災した際、政府と東京電力が、十分な事故調査もしないまま柏崎刈羽原発7基すべての再稼働をすすめようとしたことを受け、井野博満氏、石橋克彦氏、田中三彦氏、山口幸夫氏の4名が呼びかけ人となって発足した。その際、高木基金は、委託研究として助成を実施した。2013年度以降、委託研究費としての支出は行っていないが、「柏崎刈羽・科学者の会」のメンバーは、引き続き原発に関わる技術的な問題等の検証・分析に取り組んでおり、「柏崎刈羽・科学者の会」としても、新潟県の技術委員会での検討状況や政府が新潟県に求めている柏崎刈羽原発再稼働への「地元同意」の動きを追うとともに、新潟での「市民検証委員会」や住民投票条例請求の取り組みとも連携しながら活動を継続している。高木基金としては、事務局長の菅波完が「柏崎刈羽・科学者の会」の事務局を担当し、会の活動を実質的に支援している。

(4) 原子力市民委員会 (CCNE)

<エネルギー政策関連>

- ・2024年度は「第7次エネルギー基本計画」改定の年となった。政府は福島原発事故後の方針であった「原子力への依存度の低減」を削除し、前年度法制化されたGX関連法に続き、原発を「最大限活用」していく方向へと転換を図った。
- ・原子力市民委員会では、5月に他団体と「合同記者会見：第7次エネルギー基本計画議論開始に向けて 議論の枠組みとプロセスを問う」を開催したのを皮切りに、国会での要請活動を行うとともに、委員会でもこの問題を取り上げて（第37回「原発事故はメディアの報道をどう変えたのか ―エネルギー政策の議論における市民の不在」、第38回「GXと復興のもとに消されゆく福島原発事故の被害 ―エネルギー政策に反映すべき事故の教訓とは」）、課題の周知に広く取り組んだ。個別課題としては、実質的には原発や火力への補助金制度である「長期脱炭素電源オークション」の解説や特別レポート9「新電力の参入を阻む電力システム改革」を発表し、再生可能エネルギーの導入が阻まれている現状を知らせた。「エネルギー基本計画」素案公開後の12月には「リレートーク「第7次エネルギー基本計画」素案をどう読むか？」を共催し、パブコメ提出を呼びかけた。しかし、残念ながら市民の声が反映されないまま、同計画は2月に閣議決定された。
- ・この間、エネルギー政策をめぐり、他団体との連携を深めた。POW JAPANとのInstagramコラボイベント（全三回）のほか、気候ネットワークの「エネ基連続ウェビナー」の協力を行った。また、「ワタシのミライ」の実行委員団体として、アースデイへの参加やイベントの共催など、気候問題に取り組んでいる次世代との協力を深めた。
また、政府の原発回帰にともない、各地での原発再稼働が推し進められる中、オンライントークでは、「再稼働？それはダメ！」シリーズを企画し、柏崎刈羽原発、島根原発、女川原発、東海第二原発の現地からの報告を受けた。さらにオンライントークでは、各部会の取り組みの報告のほか、「電気代に原発コスト上乗せ、その違法性を問う――グリーンコープ託送料金訴訟と市民の思い」を開催し、グリーンコープが先駆的に取り組む訴訟について周知した。

<核廃棄物問題>

- ・核廃棄物問題では、高レベル放射性廃棄物の地層処分選定調査が進む北海道寿都町・神恵内村や、調査の受け入れにゆれる自治体の状況をフォローしつつ、NUMOが進める住民との「対話の場」のあり方をめぐり、オンライントーク「核のごみ処分についての「対話」はどうあるべきか―市民検証の実践から考える」を開催した。
- ・除去土壌（汚染土）再利用問題では、環境省が2020年に施行を見送った省令案が、2025年1月から再びパブリックコメントにかけられた。省令案はこれまでに指摘された問題が何ら解決されておらず、実施による環境汚染・健康リスクの問題、法令上の不備などさまざまな問題をかかえており、原子力市民委員会では、「放射能拡散に反対する会」と協力し、緊急オンライン・リレートーク「放射能に汚染された土の無秩序な拡散につながる「除去土壌の再生利用」はありえない」や「放射能の拡散につながる「除去土壌の

再生利用」問題に関する緊急市民「公聴会」を開催したほか、リレートークの講演資料を冊子にして広く配布し、今後各地で起こりうる問題について、周知をおこなった。

<福島第一原発「廃炉」問題>

- ・2023年に開始されたALPS処理汚染水の海洋放出は継続され、政府・東京電力は今も30～40年で「廃炉」を実現するという当初の計画を変更しないまま、多額の資金を投入し、燃料デブリの取り出しを試みている。原子力市民委員会では、2024年3月に発表した「汚染水発生量ゼロ」の目標を明確化し、燃料デブリを取り出さずに空冷化し、原子炉を長期遮蔽管理するー福島第一原発の廃炉について原子力市民委員会の新たな提言」の普及をオンライントークなどを通じて継続して行った。

<放射線副読本の問題や教訓の継承>

- ・文部科学省が8月に放射線副読本（小学生用、中高生用）を改訂したが、原発事故の被害や放射線の影響について、本質的な教訓を伝える記述がなく、政府の見解を一方向的に伝える内容となっていることから、「声明：文部科学省は放射線副読本における情報の公平性を確保し、福島第一原発事故の本質的な教訓を伝える内容に改善すべきである」を発表した。また、震災・原発事故の記憶がほとんどない、または直接経験していない世代が増えてきている中、若い世代が原発事故や原爆の経験と教訓について率直に語れる場として、公開シンポジウム「未来へつなぐ 原発事故・原爆の経験と教訓」を共催した。

<放射線防護の民主化フォーラム>

- ・2023年度から共催している「放射線防護の民主化フォーラム」は、事前の学習を兼ねたウェビナーとともに、「真実に目を向ける：福島が問いかける未来への選択を、いわき市から考える」を開催した。

(5) 「市民科学」の意義を深め、若い世代につなげていく取り組み

- ・2022年から、高木基金が助成している調査研究を切り口として、さらに議論を深める場として、「市民科学」公開フォーラムを実施している。2022年度は、リニア中央新幹線・大深度地下トンネル問題、2023年度は、ネオニコチノイド農薬とPFAS（有機フッ素化合物）をテーマとして企画した。
- ・2024年度は、さらにこれを、高木基金が重点課題として取り上げる問題の解決をめざす運動につなげていくことを目指し、「広がるPFAS汚染：私たちにできることは何か」をテーマとして、東洋大学白山キャンパスの会場とオンラインを併用して実施した（会場参加者31名、オンライン参加150名）。
- ・具体的には、フォーラムの第1部で、PFAS問題に関わる現場での取り組みの紹介として、沖縄から河村雅美さん（インフォームド・パブリック・プロジェクト 代表）、北海道の状況について藤原寿和さん（化学物質問題市民研究会 代表、高木基金 顧問）、高木基金の助成研究から、原田浩二さん（京都大学大学院医学研究科 准教授）に報告していただいた。第2部では、ジャーナリストの諸永裕司さん（元朝日新聞記者）、市民の立場から高橋雅恵さん（多摩地域のPFAS汚染から命と健康を守る連絡会 世話人）、さらに中下裕子さん（ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議 代表）からの問題提起を受けた上で、この問題をどのようにとらえ、どのように対応していくか、議論を深めた。（なお、この取り組みのつながりを発展させるかたちで、「高木基金 PFAS プロジェクト」への委託研究を実施することとなった（→p.13）。

(6) 選考委員の一般公募

- ・高木基金では、2007年度以降、選考委員の交代・補充の際に、選考委員の公募を実施してきた。最近では2019年度に佐藤秀樹氏（江戸川大学社会学部専任講師）、玉山ともよ氏（有機農業、丹波篠山市原子力災害対策検討委員）の2名に選考委員を委嘱した。2024年度も選考委員の一般公募を実施することを検討したが、実施に至らなかった。

(7) 会員・組織基盤拡大の取り組み

- ・2024年度の会員・支援者数の状況は次表の通りで、年間の支援者数は654名（前年比△191人）だった。過去には、2022年度に行ったクラウドファンディングをきっかけに、支援者が大幅に拡大したが、2024年度は原子力市民委員会でのクラウドファンディング実施を検討していたものの、年度内に実施に至らなかったこともあり、高木基金全体として、支援呼びかけが不十分だった。これが新規、継続の支援者数減少の原因となった。一方、復活の支援者は2023年度を上回った。
- ・会費・寄付合計額は2,492万円で、2023年度の会費・寄付収入（福武公子様からの遺贈寄付を除く）と同水準となった。内訳は、大口寄付を除く一般の方からのご支援が892万円、大口のご寄付が1,600万円となった。大口のご支援は、高木基金および原子力市民委員会の活動に大きな信頼をいただいているからこそのことであるが、基本的な支援の呼びかけが十分に取組めず、一般の方からの支援が、人数・金額とも過去数年の中でも低い水準に留まったことは大きな反省材料である。
- ・支援者一人あたりの支援金額は、13,811円（同+1,059円）となった。一般の支援件数が伸び悩んだことが、一人あたりの支援金上昇につながったと思われる。

◆2019～2024年度の支援者数の推移

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	前年度比	備考
正会員	22人	20人	21人	20人	19人	17人	△2人	
維持会員	201人	189人	204人	149人	107人	159人	+52人	
賛助会員	232人	222人	261人	163人	72人	148人	+76人	
会員計	455人	431人	486人	332人	198人	318人	+120人	
寄付者	337人	437人	302人	747人	647人	336人	△311人	
支援者総数	792人	862人	788人	1,079人	845人	654人	△191人	
支援者の内訳*								
新規	54人	52人	37人	285人	189人	46人	△143人	
継続	602人	594人	609人	566人	549人	433人	△116人	
復活	136人	216人	142人	228人	107人	175人	+68人	

* 内訳の「継続」は前年度も支援のあった方、「復活」は過去に支援の実績があり、前年度はなかった方。

◆2020～2024年度の会費・寄付の内訳（遺贈および基金への現物寄付を除く）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比
支援合計（千円）	31,900	36,433	27,206	24,861	24,922千円	+61千円
内 一般の会費・寄付（千円）	10,627	8,260	15,506	10,661	8,922千円	△1,739千円
[1人あたり（円）]	[12,743円]	[10,630円]	[13,253円]	[12,752円]	[13,811円]	[+1,059円]
内 大口の寄付（千円）	21,273	28,173	11,701	14,200	16,800千円	+1,800千円

一人あたり50万円以上のご支援を「大口」、それ以外を「一般」として集計している。

- ・2019年から、支援者拡大の取り組みの一環として、「本棚お助け隊」および「ブックオフ」との提携による「古本募金」の協力を呼びかけている。2024年度は、古本募金の支援件数は5件に留まり、金額としても34千円ほどだったが、1件、高額の買い取りとなったケースがあったことから、1点あたりの買い取り金額が上昇した。
- ・2021年度から、未使用切手・書き損じはがきによる寄付も受け入れてきた。2024年度は、具体的な呼びかけができなかったこともあり、過去に送付していた切手・はがき寄付の呼びかけ封筒による支援が届いたものなど26件、寄付総額は約72千円となった。寄付された切手・はがきなどは、事務局から発送する郵送費に有効活用している。

◆古本募金の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比
寄付件数	19件	29件	26件	5件	△21件
寄付冊数	1,744点	1,130点	2,648点	195点	△2,453点
買取冊数	884点	731点	1,456点	115点	△1,341点
買取金額	60,118円	225,899円	67,859円	34,394円	△33,465円
(平均単価)	68.0円	309.0円	46.6円	299.1円	+252.5円

◆はがき（未使用・書き損じ）・切手寄付の実績

	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比
寄付件数	159件	84件	26件	△58件
寄付金額	473,816円	213,310円	72,640円	△140,670円
(平均単価)	2,980円	2,539円	2,939円	+400円

- ・ニューズレター「高木基金だより」を2024年度に2回発行した（No.60：5月1日、No.61：2025年2月1日）。No.61では、基金だよりの表紙として、高木仁三郎さんの文による絵本『ぼくからみると』の絵をお借りすることができた（出版元ののら書房を通じて片山健さんのご了解をいただいた）。これにあわせて紙面全体のイメージを一新した。これについては支援者から好評の声が複数、事務局に届いている。
- ・基金だよりの発送部数は約3,900部で、高木基金の会員・寄付者に送付するとともに、高木基金の事務局と接点のあった研究者や市民活動の関係者などにも送付し、高木基金の活動への理解者を広げるよう努めている。あわせて全国のNPO支援センター等にも送付し、一般への閲覧用として活用していただいている。

(8) 2024年度決算について

- ・2024年度の収入は、会費・寄付収入の総額が2,492万円となった。内訳は会費が304万円（予算比△96万円）、用途を指定しない寄付が1,592万円（同+142万円）、原子力市民委員会への指定寄付が595万円（同△155万円）であった。ここ数年、減少していた会費収入が増加した。過去、クラウドファンディングを実施した年度に、すでに寄付をして下さった方への再度の会費支援の依頼を控えたことで、会費収入が減少していたものが、2024年度にクラウドファンディングを実施しなかったことで回復したと考えられる。
- ・書籍販売収入は、原子力市民委員会の『原発ゼロ社会への道』や特別レポートなどの販売によるもので2024年度の実績は17万円に留まった。
- ・第23期の国内枠助成に関連して、2023年度に福武公子様からの遺贈寄付を特別助成事業引当金に繰り入れた500万円からの取り崩し収入として、300万円を計上した。これは、2024年度の原発問題関連の助成金の原資に充当した。
- ・2024年度の事業費は、助成金784万円（緊急対応の助成を含む）、委託研究費100万円、人件費を含む助成事業費440万円、原子力市民委員会の事業費982万円を含め、経常支出の総額は3,106万円となった。
- ・これに対して原子力市民委員会引当金からの取り崩し収入、特別助成事業引当金からの取り崩し収入を含めた収入合計は3,208万円となり、単年度の収支は+102万円（予算対比+362万円）、年度末の正味財産は1,940万円となった。なお、この他に、国内枠助成金のための特別助成事業引当金200万円、原子力市民委員会事業引当金1,511万円を、正味財産とは別に確保している。
- ・また、2021年度に現物資産（金地金1kg）のご寄付のご相談があり、その他の資産とは明確に別管理をするために、「TF次世代育成基金」を設置し、東京都にその確認を受けた上で、2022年2月にご寄付を受領した。この資産は、運用収入の得られる有価証券に買い換えることを理事会で議決した上で、証券会社に口座を開設し、2023年3月までに利付き米国債への買い換えを完了した。その後、2024年7月に満期償還した米国

債券を、2024年12月に同額の米国債に買い換えた。2024年度に基金運用収益として約4万円が得られた。この収益は寄付者様からのご意向に沿い、原子力市民委員会の収益に計上し、事業の原資とさせていただいた。この基金に関わる一連の運用は、現物資産の寄付に関わる税制上の特例を活用したものであり、実施例も少ないことから、税理士に相談しながら慎重に対応している。

議題2. 2025年度事業計画及び収支予算

高木仁三郎市民科学基金（高木基金）は、2000年10月にこの世を去った高木仁三郎の遺志をうけて、2001年度から市民科学をめざす個人や団体への助成事業を開始し、来年で25周年を迎える。高木仁三郎の遺産約3000万円と偲ぶ会に集った人々や高木の遺志に賛同した人々からの寄付約5000万円、合計約8000万円でスタートした高木基金は、その後も市民からの寄付に支えられながら、2024年度までに23回の公募を実施し、国内・アジア合わせて473件、総額2億5000万円を上回る市民科学助成を実施してきた。市民科学のテーマは、原子力・エネルギー、廃棄物・処分場、有害化学物質、基地問題、ダムや鉱山などの大規模開発、生態系破壊、遺伝子組み換え、人権など多岐にわたる。多くの助成先、寄付者・支援者とともに、「人の顔をした科学」を追求し、現代の科学技術の負の側面に一石を投ずる市民科学の営みができたことは大きな成果である。

一方で、発足から四半世紀を経た今、高木基金は2つの課題に直面している。ひとつには、財政状況の悪化である。高木基金の支援者の多くは、高木仁三郎と時代をともにした方々であり、いつまでも寄付をお願いするわけにはいかない。時の流れとともに、高木仁三郎を知らない世代が増える中、市民科学のバトンを次世代に手渡すためには、今という時代のニーズに応じた「市民科学」の実践を追求しなければならない。

二つ目はより根本的な課題である。それは、科学技術の発展がとどまることを知らず、その負の側面によって、人類の生存が脅かされている状況が深刻化の一途をたどっていることである。

そして、科学技術の専門性の高度化と細分化はますます進み、ひとたび問題が生じた際、市民がその問題の全体像を理解することが相当困難となっている。科学技術政策のあり方について、市民が意思決定に関与していくためには、その分野に精通した科学者が市民の側に立ち、専門性の高い問題を解きほぐし、解決への糸口や道筋を示すことが不可欠である。さらに、社会的な問題に取り組むにあたっては、複数の分野にまたがる専門家の関与が欠かせない。まさに、高木仁三郎がその必要性を説いた「専門的批判の組織化」が求められている。

高木基金が福島第一原発事故後、2013年から特別事業として運営・支援してきた「原子力市民委員会」は、そうした試みであったといえる。また、毒性が長く残留するため「永遠の化学物質」と呼ばれるPFAS汚染が各地で広がる中、高木基金は2024年度に、「高木基金PFASプロジェクト」を立ち上げた。原子力市民委員会、高木基金PFASプロジェクトのいずれも、高木基金の助成先とその分野の専門家と高木基金とがともに議論を重ね、今の時代に求められる取り組みとして発足したものである。

このような流れをふまえ、高木基金では、来年25周年を迎えるにあたって、助成先や専門家などと連携して取り組む「シンクタンク（実践）事業」を新たに設け、従来の「市民科学の助成事業」とともに、高木基金の事業の2本の柱として位置づけることにしたい。

2025年度は、「市民科学の助成事業」と「シンクタンク（実践）事業」の予算配分や事務局体制を含めて整備をしたうえで、事業を進めることとする。

1. 市民科学の助成事業（国内枠およびアジア枠）

(1) 国内枠

- ・2025年度は時期を定めた公募ではなく、随時受付とする。
（要事前相談とする。受付から結果通知まで2カ月程度を目安とする）。
- ・助成総額は400万円とする。
- ・選考委員による書類選考の評価をふまえて、理事会で決定する。
- ・1件あたりの応募金額は原則100万円まで（応相談）とする。
- ・第23期（2024年度）助成の成果発表会は2025年9月に実施する。
- ・2025年度の助成先について、調査研究に関する情報発信のサポート（基金だより・オンラインイベントなど）を行う。

(2) アジア枠

- ・アジア枠としての助成金公募は実施しない。
- ・アジアにおける市民科学の普及にあたって、次年度以降、年に一度のイベント開催を検討する。

(3) 国内枠・アジア枠共通

- ・緊急的な助成及び委託研究に備える予算枠については、100万円計上する。

2. 市民科学のシンクタンク（実践）事業

(1) 原子力市民委員会（CCNE）

高木基金の特別事業として、福島第一原発事故の2年後に発足した原子力市民委員会の活動は、13年目に入る。今年度からシンクタンク（実践）事業に位置づける。参加メンバーの自主性を重視し、必要な課題に対して、創意工夫を凝らしながら、協力して活動をおこなう。委員会として重要と認識した課題については集中して取り組んでいく。

● 各部会の取り組み：

<福島原発事故部会>

- ・月一回程度、部会開催。長期課題として『原発ゼロ社会への道』をベースとした意見交換「福島県内外の被害者の声の記録化と意味付け」「次世代に被害を伝える資料・教材等の作成」「裁判支援のための情報共有」の4つのグループを置いている。
- ・今年度は、住民・市民との対話企画、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）との対話、除去土壌の「復興再生利用」問題を含む中間貯蔵施設・最終処分問題、復興予算の分析、裁判支援・データベース作成や若い世代とのつながりなどに取り組む。2023年から共催団体として参加している「放射線防護民主化フォーラム」の活動は今年度も継続する。

<政策調査部会>

- ・月一回程度、部会開催。部会には原子力問題にとどまらず、気候変動や再生可能エネルギーなどの問題に取り組む研究者・他団体もオブザーバー参加し、「エネルギー政策関係」と「核廃棄物関係」に分けて議論・検討をしている。
- ・今年度は、原発の最大限活用を方向づけた「エネルギー基本計画」にもとづく個別政策の課題に対応していく。また、パブリック・コメントの「大量投稿」を問題とし、政府がコメントの制約を図ろうとする報道が相次いだことから、本来あるべき市民参加のかたちを追求すべく、分野を横断した市民団体との連携、法制度改正などの動きを模索する。
- ・核廃棄物政策では、高レベル放射性廃棄物の文献調査や候補地選定の対象となる地域をフォローし、国全体の課題である廃棄物政策の問題に取り組む。引き続き、廃棄物問題に関心のある他団体との連携を深める。

＜原子力技術・規制部会＞

- ・月一回程度、部会開催。部会には原発やプラント関係の技術者や原発運転差止訴訟などにかかわる弁護士、研究者、市民が参加し、原発の安全性、規制の問題を議論・検討している。
- ・福島第一原発の「廃炉」に関し、技術・規制部会が提示してきた「長期遮蔽管理」や ALPS 処理汚染水対策の代替案については継続して課題の普及に取り組む。「廃炉」について、外部組織との対話を検討する。
- ・東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）について、オンライントークや委員会開催など、地元の団体と連携して再稼働の問題に取り組む。また、技術・規制部会を中心に、原発と地震の問題について、わかりやすい冊子を作成する。

●委員会全体としての取り組み：

- ・幅広い人々への周知を要する重要な政策テーマについて、年3回程度委員会を開催する。運営方針を決める運営会議は年4～5回開催する。また、委員会内での分野を横断した相互理解を深める場を持つ。
- ・福島原発事故を知らない世代にも原発問題をわかりやすく伝えていく情報拠点として、ウェブサイトなどの整備を進める。また、その資金確保のためのクラウドファンディングを実施する。
- ・オンライントークなどを通じて、重要な課題・関心の高いテーマの情報を発信する。
- ・核廃棄物問題における市民参加に関する情報整理など、いくつかのテーマについて部会を横断して取り組む。反核運動とのつながりを深める。
- ・メンバーや市民の参加を促進し、若年層へのアプローチ方法を工夫する。

(2) 高木基金 PFAS プロジェクト

- ・高木基金として、シンクタンク（実践）事業に位置づけ、300万円の予算で実施する。
- ・食品安全委員会（食安委）のリスク評価に基づく「耐容一日摂取量」（TDI）をもとに、環境省は、飲み水の水質基準を「PFOSとPFOAの合計で50ナノグラム」と定めた。欧米各国と比べてはるかに緩い値となった。
- ・このTDIの根拠となった食安委のリスク評価について、高木基金PFASプロジェクトが検証を行った結果、評価の過程で非公開での大量の参照論文の差し替えの実態が明らかになった。この問題については現在も、国会での追及が続いている。食安委は、2025年4月、リスク評価にあたって、公式なワーキンググループ会合（全9回）の他に、24回もの非公式会合を重ねていたことを認めた。しかし、その討議内容はいまだに公開されておらず、どのような議論を経て参照論文の差し替えやPFASのリスク評価が行われたのかについては不透明なままである。よって、今年度も引き続き、食品安全委員会のPFASリスク評価の根拠となる情報の開示をもとめて活動を行う。
- ・各地で高濃度のPFAS汚染が明るみに出る中、子どもへの健康影響が特に懸念される。現在生じている健康被害の可視化につながるよう、調査研究の実施を検討する。また、今回の食安委の問題は、日本における人の健康影響に関するリスク評価のあり方の根本的な問題を示しており、本来あるべき評価体制について、提言することを視野に入れて活動する。

3. 「市民科学」の意義を深め、次世代につなげていく取り組み

- ・今年度は高木仁三郎没後25周年となるため、原子力資料情報室・高木学校と連携して、高木仁三郎が残したメッセージ、その生き方などを次世代に伝えるイベントを実施する。
- ・2022年から実施している「市民科学フォーラム」は、上記のイベントがあるため今年度は見送る。市民科学にかかわる重要な論点の議論を深める場としては、シンクタンク（実践）事業のイベントなどを通して設けるようにする。

4. 選考体制

- ・助成の選考にあたって、随時の選考に移行したのちも、市民科学のテーマとなる課題に詳しい専門性を持つ方々による選考委員会を維持し、書類選考や助言を依頼する。
- ・2007年度以降、実施してきた選考委員の一般公募については、事業整備の過程にあるため、今年度は行わない。理事会として委嘱する選考委員の補充は別に検討する。

5. 広報・情報発信

- ・高木基金の助成先や実践事業による市民科学の取り組みを社会的に発信するために、ウェブサイトをはじめ、メディアや SNS 対応を含む環境整備が必要である。広報担当を置いて、これを進める。

6. 会員・組織基盤の拡大

- ・高木基金の支援者は高木仁三郎と時代をともにされた方々が多く、今後事業を継続していくためには、中堅世代の新規の支援者を獲得していくことが不可欠である。クラウドファンディングは、SNS などでの拡散にもつながり、新しく支援者を広げる効果がある。今年度は、以下を実施する。
 - ・原子力市民委員会として、クラウドファンディングを実施（6月）
 - ・高木基金として新しい事業体制への支援を呼びかけるクラウドファンディング（秋頃）
 - ・高木基金 PFAS プロジェクトとして、助成金獲得の検討
 - ・ニューズレター「基金だより」の発行（2回程度）
 - ・大口寄付者の開拓

7. 事務局体制

- ・世代交代をふまえ、新たな人材の募集を行う。
 - ・フルタイムスタッフ 1名（若手、プログラムオフィサー兼実践事業担当）
 - ・パートタイムあるいは外注 2名（広報担当、事務・会計担当）

8. 収支予算

- ・2025年度は、高木基金の事業を「市民科学の助成事業」と「市民科学のシンクタンク（実践）事業」の2本柱とする。助成予算の額は400万円に縮小し、緊急的な助成及び委託研究に備えるため100万円計上した。
- ・実践事業にあたる高木基金 PFAS プロジェクトへの助成300万円は便宜上、委託研究費に計上した。プロジェクトとして独自に外部の助成金確保をめざすこととし、初年度の目標を100万円とした。
- ・原子力市民委員会については、2026年度までの長期計画に基づいており、今年度の事業費は人件費500万円を含む1,000万円を計上した。同時に事業指定寄付の目標を600万円とした。
- ・助成事業・実践事業とも情報発信が要であり、広報担当を置いて基盤整備をすすめるため、広報普及費に240万円を計上した。
- ・支援者からの会費・寄付はほぼ従来どおりとしたが、新規支援者の確保が必要であり、クラウドファンディングや大口寄付者の開拓に取り組む。

高木基金 2025 年度収支予算（参考：2023 年度、2024 年度決算）

（千円）

	項 目	2023 年度（参考）	2024 年度（参考）	2025 年度
収 入	会費	2,219	3,044	3,000
	寄付（遺贈含む）	21,340	15,925	15,500
	事業指定（CCNE）	6,299	5,952	6,000
	助成金	0	0	1,000
	書籍販売	324	173	200
	利息・雑収入	649	335	200
	CCNE 事業引当金	4,013	3,655	4,000
	特別助成事業引当金	500	3,000	2,000
	収入合計	35,344	32,084	31,900
支 出	助成金	8,000	7,840	4,000
	委託研究費	0	1,000	4,000 (内 PFAS3,000)
	助成関係費	1,358	967	1,500
	助成人件費	4,762	3,434	5,000
	広報普及費（人件費含む）	957	3,178	2,400
	CCNE	10,861 (内人件費 6,329)	9,821 (内人件費 6,557)	10,000 (内人件費 5,000)
	管理費	4,939 (内人件費 2,671)	4,820 (内人件費 2,693)	5,000 (内人件費 3,000)
	支出合計	35,876	31,060	31,900
	人件費合計	13,761	13,255	13,000
	収支差額	-532	1,024	0

以 上